

石平『そして中国は……』

——習近平が20回黨大會で打った手——

21世紀日亞協會 會長

伊原 吉之助

今後の予定：単發の書評と、昭和史の講義（獨立テーマで繋ぐ）を混ぜて行きます

12月15日 (木)：昭和史Ⅱ：山岡貞次郎『支那事變：その秘められた史實』（原書房、昭和50.8.15） 2200圓

→ 「盧溝橋の一發」は中共ではなく 中國國民黨藍衣社の策動で始つた……

拙稿「大東亞戦争と支那事變」（『世紀末から見た大東亞戦争』プレジデント社、1991.12.18,1部1章）

阿羅健一『日中戦争はドイツが仕組んだ』（小學館、2008.12.21） 1500圓+税

〃 『日中戦争は中國の侵略で始つた』（悟空出版、2016.3.1） 920圓+税

1月14日 (土)：昭和史Ⅲ：海軍軍縮と五一五事件：英米との協調と對立……

林新・堀川恵子『狼の義：新犬養木堂傳』（KADOKAWA、2019.3.23） 1900圓+税

古島一雄『一老政治家の回想』（中央公論社、昭和26.5.5/44.6.25再版） 550圓

田中健之『昭和維新』（學研プラス、2016.3.8） 2800圓+税

2月18日 (土)：昭和史Ⅳ：世界大不況からの脱出競争とブロック經濟の試練

（辯護士會館）北浜 池田美智子『對日經濟封鎖：日本を追ひ詰めた12年間』（日經新聞社、1992.3.25） 1748圓+税

土井泰彦『對日經濟戦争 1939-41』（中央公論事業出版、2002.8.15） 3000圓+税

3月18日 (土)：昭和史Ⅴ：我國の總力戰對應と二二六事件

（辯護士會館）北浜 竹村民郎『戦争とフォーティズム：戦間期日本の政治・經濟・社會・文化』（藤原書店、2022.6.10） 4800圓+税

4月 日 (土)：書評：兵頭二十八『地政學は殺傷力のある武器である』（徳間書店、2016.2.29） 1700圓+税

（辯護士會館）北浜

このほか、わくわくするやうな興味深い新刊書が續々出てありますので、どんどん取上げて行きます。
請ふ御期待！

I. 時事問題からの設問：

(1) 北京に習近平批判の動き：

- ①2022.10.13 北京で習近平批判の横断幕 「独裁者の罷免を」要求を高架橋に掲げる（北京=時事『日経』10.14, 3面）：習近平を批判する横断幕の画像が出回っている=ツイッターから。(1)中共党大會の開幕を3日後に控えた13日、北京市内の高架橋に「独裁の国賊、習近平を罷免せよ」と書いた巨大な横断幕が掲げられる騒ぎあり。米政府系放送局ラヂオ・フリー・アジア (RFA) などが画像と共に伝えた。(2)RFAによれば、現場には2枚の横断幕が掲げられ、「封鎖は要らない、自由が欲しい」「領袖は要らない、投票が欲しい」など書いてあった。拡散した画像では橋から黒煙が上がる様子が写っている。横断幕を誰が掲げたかは不明（伊原註：民主派の要求）。(3)中国内でも画像がSNSなどで擴ったが、削除され閲覧できぬ状態になっている。習氏の權威を高める動きが活潑になる中、習氏の批判が公然と行われた形で、当局は徹底的に封じ込めを図っている模様。(4)「領袖」は毛沢東用の呼称。今回の党大

会で総書記として3期目入りが見込まれる習氏にも、官製メディアや地方幹部などが度々使っている。

②2022. 10. 13 北京出現巨幅反習抗議布條 中國網路禁搜禁發 (訃=編譯楊芙宜, 訃報 10. 13/19:25) : 中共20大召開前夕, 北京市海淀區四通橋 (13) 日 竟出現多條巨幅白布紅字的抗議標語, 要求罷免「獨裁賣國賊習近平」。(圖擷自推特) (1)美國華人新聞網站『中國數字時代』(China Digital Times)、「看中國」報導, 在中共20大即將在16日登場、中共總書記暨中國國家主席習近平料將取得第3任期之際, 儘管維安管控升級、草木皆兵, 北京市海淀區四通橋 (13) 日竟出現多條巨幅白布紅字的抗議標語, 要求罷免「獨裁賣國賊習近平」, 且橋上有濃煙, 有人在用喇叭播放「要吃飯、要自由、要選票」、「不要謊言要尊嚴」、「不做奴才做公民」等, 引發關注和熱議, 同時也觸動中國網路管理部門, 立即針對相關字詞進行審查禁搜禁發。(2)據報導, 北京海淀區北三環西路四通橋一處高架上今日驚現抗議標語, 其中, 有2條白底紅字的巨型橫幅相隔著「四通橋」的藍色指示牌懸掛著展開, 較長較大的一條橫幅上寫著兩排文字: 「不要核酸要吃飯, 不要封控要自由, 不要謊言要尊嚴, 不要文革要改革, 不要領袖要選票, 不做奴才做公民」; 另一條短橫幅則寫著「罷課罷工罷免獨裁國賊習近平」。(3)網路流出一段影片顯示, 北京四通橋下是川流不息的車輛, 高架橋上有一股滾滾黑煙, 伴風漂向天空, 同時可見有一位男子在晃動, 並用高音喇叭反覆播放抗議橫幅內容: 「要吃飯、要自由、要選票」。多張網路照片顯示, 北京市海淀區四通橋現場滾滾濃煙, 引發網友諸多臆測: 如濃煙可能是抗議者點燃東西引發, 甚至傳出可能是抗議者自焚所致。(訃註) (4)隨後, 有知情網友表示: 「四通橋是中關村著名地標」、「現在海淀好多警察」、「應該是四通橋, 現在橫幅已經撤掉, 交通業已恢復, 和事情沒發生時一樣」、「就是北京北三環西路四通橋和中關村大街交叉口, 位於友誼賓館北側, 雙安商場西側, 人民大學和當代商城南面」。(5)有中國網友感嘆: 「這個世界上一定有人做著我想做不敢做的事情」、「不在沉默中爆發, 就在沉默中滅亡」、「這個是真勇士呀! 其實我們很多都對現行的政策不滿, 但是一直都不敢站出來, 願這位勇士平安!」(6)也有中國網友表達擔憂: 「勇士, 北京這麼多攝像頭 (錄影鏡頭), 真正的勇士。這要是被抓住, 肯定又顛覆政權了」、「這個人估計會死在監獄裡, 勇士」、「有勇有謀, 但是動作太大了, 我們懷念他」、「勇士很可能會被關精神病院。」(7)據報導, 有2名推特網友嘗試在微信轉發相關圖片, 結果遭到禁言24小時的處罰。經測試發現, 微博平台已對「四通橋」、「北京 橫幅」、「北京 標語」等關鍵字搜索開啟審查, 實質等同禁搜, 橫幅內容疑似已禁發。

→ 伊原註: 寫眞の通りの文字順に並べると、以下の通り——

不要核酸要吃飯	不要封控要自由	不要謊言要尊嚴
不要文革要改革	不要領袖要選票	不做奴才做公民

(2) 日本の防衛戦略が崩壊! (鍛冶俊樹の軍事ジャーナル, 2022年10月20日) : ①戦略3文書が年末までに改定される。3文書とは国家安全保障戦略、防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画である。この3文書の改定は、抑「2020年末までに改定する」と当時の安倍総理が示唆していた。ところが安倍総理が体調不良で辞任し、続く菅政権はコロナ対策に忙殺され、岸田政権で漸く実現の運びとなった。既に2年遅れである。2020年時点で安倍総理は5年以内に防衛費を倍増させ、敵基地攻撃能力を整備せねばならぬと考えていた。②なぜなら、2026年に中国が台湾に侵攻する公算が極めて高いと予測されていたからだ。3日前、米国の防務長官は「中国はずっと早い時期の統一を追求する根本的な決断」をしたと見られる旨を述べた。③岸田政権は年初から7月まで、3文書改定に向けた有識者との意見交換会を17回行った。中には、もはや5年以内に2倍では足りず3倍にすべきとの意見もあったという。防務長官の発言を聞けば、もはや非現実的な数字などとは言っていない。④これで有識者の意見は集約された筈なのに、岸田政権は9月に「国力としての防衛力を総合的に考える有識者会議」を新たに立上げた。制服OBが一人も居ず、防衛費の伸びをなるべく低く抑えたい財務省の意向を強く反映した会議である。⑤あと2ヶ月で3文書を改定せねばならぬ、この期に及

んで、然も中国が日本の排他的経済水域にミサイルを撃込み、北朝鮮のミサイルが日本列島上空を飛び、ロシアの軍艦が日本周辺を航行している時代に、防衛費の伸びを抑えに掛かっているのである。⑥更に岸田総理は3文書を閣議決定する前に与野党間で議論することを検討するという。立民や共産党を含めた野党と協議すれば、反撃能力についても、「必要最小限」とか「暴走せぬための歯止め」などの制約が課され、有事即応の態勢が取れなくなることは目に見えている。⑦日本の防衛戦略は、今正に崩壊しつつある。

(3) 2022.10.22 中国新指導部「権業」略奪へ 大規模人事(北京=三塚清平「産経」1面)：①22日に開幕した 中共大会で 習近平総書記の異例の三期目続投が確定した一方で、李克強首相が最高指導部から退くことになった。23日に発足する新最高指導部は、習氏の側近ら習派が多数を占めるのは確実。習氏との距離が指摘されていたものの、引退年齢に達していない李氏の退任は、習氏が強引に押切ったとみられる今回の人事を象徴している。②北京の外交関係者は李氏の党ボスからの引退について、「事前には全く予想していなかった展開だ」と驚きを隠さない。李氏は曾て、共青团トップの第一記を務めたエリート出身。習仲勳元首相を父親にもつ「紅二代」の習氏とは総書記の座を巡り争うライバル関係にあったが、首相就任後は習氏に経済運営などの権限を次々奪われ、「上司と部下」関係になっていた。昨3月、憲法の規定により首相を退任することは既に決っている。③当初、最高指導部メンバーである政治局常務委員の人事を巡っては、「68歳年」の慣例に觸れる全人大常務委員長の栗戰書氏と韓正氏のみ小幅な入替にとどまると予想する声が大半だった。党内結束の演出を狙い、習氏が距離を置く共青团出身者も最高指導部に複数置いてバランスをとると見られていたためだ。④そうした中、共青团出身の李氏と汪洋氏が残留し、全人大常務委員と首相とにそれぞれ就任するとの観測が取沙汰されていた。⑤風向きの変化が傳わるようになったのは党大会開幕直前。その頃、中国政治に詳しい情報筋は「習氏はしっかり党内の権力を維持している。三期目の5年間を好きでもない人間と仕事をしたくないと考えているのではないか」との見方を示していた。⑥結果は政治局常務委員7人中4人、政治局員も含めれば全25人中13人が退くという大規模な人事となった。共青团出身者では、胡春華副首相59が22日、映委員に黜され、政治局常務委員への昇格の可能性を残す。胡氏の處遇次第で、習氏の三期目指導部が「習派」一色に染まるかどうかが決る。

→ 習近平の小細工「奇襲クーデター」“胡錦濤強制退場事件”(石平の中國週刊ニュース解説「党大会緊急特番」)：

(1) 8月1日~15日 の北戴河會議の習近平と共青团派の「妥協」：習近平の留任を認める代償に、李克強・汪洋を中央政治局常務委員に据え置き、汪洋を首相にする

(2) 10.21 午前「中央委員候補名簿」配布、李克強・汪洋の名の記載あり。午後、各代表團が草案に意見表明。ここで習近平の子分が首長を務める上海・天津・重慶三大直轄市(何れも習近平の子分が首長)から異議あり、「若返り」を提案。ここで党大会秘書長王滬寧・同副秘書長陳希(何れも習近平の子分)の工作で李克強・汪洋兩名を「中央委員候補名簿」から削除

(3) 10.22 午前9:00 閉幕式開始「総監票人・監票人」38名選出 → 外国人記者入場 → 「中央委員」選出。ここで一同が「候補名簿」を手にとると、この最終版から李克強・汪洋の名が消えてゐた！李克強・汪洋は續投を断念したが、胡錦濤が抗議しようとしたため、特務が二人がかりで腕を掴んで退場させようとした。胡錦濤、なほ激しく抵抗するも及ばず、結局断念して自ら歩いて退場

(4) これで共青团派が収まるかどうか……？

→ 伊原評：習近平は毛澤東に似てきた。権力闘争では毛澤東並／經濟に弱い點でも毛澤東並／共青团派は官僚臭紛々で権力闘争に弱い……／經濟は確實に弱體化する……

→ “胡錦濤騒ぎ”の別解釋：胡錦濤が問題にしたのは、政治局常務委員からの「胡春華外し」……

(4) 2022.11.11 [田中宇：選挙不正を繰返す米国] (田中宇の国際ニュース解説 無料版 11.11、<https://tanakanews.com/>)：この記事は「中間選挙で米国が変わる？」の囁き。<https://tanakanews.com/221108election.htm>
①米国で11月8日に行われ、まだ開票が続いている中間選挙(連邦議会・州議会・州知事などの選挙)で、

民主党側が広範な選挙不正を行っている見込みが増している。米国では、前回2020年の総選挙でも民主党側が、コロナ対策を口実に拡大された郵送投票制度などを悪用して広範な不正を行い、再選される筈だった共和党のトランプ大統領が敗北させられ、民主党のバイデン現政権になり、聯邦議會も上下院とも多数派が民主党になった。不正が行われた2020年の選挙管理体制は、その後も残り、今回再び不正が行われた疑いがある。民主党に対する米国民の支持は、かなり落ちたので、不正がなければ今回の中間選挙は民主党の惨敗、共和党の圧勝になる筈だったが、蓋を開けてみると、共和党は辛勝になっている。民主党が権力を握る諸州では、コロナ対策を口実に、不正をやり易い郵送投票制度がこの2年で更に拡大し、それが選挙不正の温床になったようだ。②2016年のトランプ登場後、共和党内はトランプ派が拡大し、それまで主流派だったブッシュ家以来の軍産エスタブlishメント系が縮小した。米覇権主義の軍産系は、覇権放棄を進めるトランプ派を敵視し、同じ軍産系の民主党側をこっそり支援したがる傾向を強めた。トランプ派は、2020年に不正をされた選挙管理体制を改革しようとしたが、共和党軍産派と民主党とのエスタブ連合に阻まれて改革を進められず、今回の再不正になった。③米中間選挙で大規模不正の可能＝米国のマスコウ権威筋はエスタブ連合の一部なので、前回2020年も今回も、選挙で不正が行われたことを一切認めない。エスタブ連合は「中間選挙で共和党が伸び悩んだのは、トランプの人氣が落ちているからだ。トランプはもう時代遅れなのだから、自分の再選に固執せず、再立候補を断念して政界を引退すべきだ」といった言論が出始めている。エスタブ連合が選挙不正をやったので共和党が伸び悩んだのだが、それを政敵トランプのせいにして、トランプを引退させようとしている。トランプは中間選挙が終わったら立候補を表明しようとしていたが、表明の延期を決めたようだ。④共和党は現在トランプが最有力の指導者だ。トランプ派は共和党の主流派だ。万が一トランプが辞めたら、その後の共和党で最も有力な指導者はフロリダ州知事に再選されたロン・デサンティス辺りになる。デサンティスはトランプの盟友だから、別にトランプが辞めてデサンティスが共和党を率いても余り変りがないようにも見える。だがもう少し考えると、今はトランプが共和党を率いているので、デサンティスはトランプの盟友として振舞っているが、もしトランプが辞めてデサンティス自身が指導者になると、目立たぬように態度を変えて、いつの間にか軍産エスタブの策をとっている、などということがあり得る。トランプは大統領になって、米国の諜報界や覇権体制を破壊しかけた。米国の覇権運営を担当する諜報界は、選挙不正までやって全力でトランプを潰そうとしてきた。これは深い戦いだ。何が起きても不思議でない。⑤2020年の選挙不正は今の所「完全犯罪」になっている。選挙不正があったと指摘しても、それは「負けを認めたがらぬ共和党支持者連の妄想」とレッテルを貼られて終る。地球温暖化問題やウクライナ戦争（対露善悪歪曲）、経理上の超愚策、米金融システム（QEによる相場歪曲）などと並ぶ、巨大なウソの構図だ（これは何れも、ウソの構図を指摘する者がトンデモ扱いされつつ、ウソの構図が平然と半永久的に続く。世界はウソだらけ）。米国の不正選挙の構図は固定化され、今後繰り返される見込み大だ。⑥トランプ派が共和党内で軍産派を完全に追出して選挙制度改革をうまく推進できたり、2024年の大統領選挙でトランプが勝って米大統領に返り咲いたりすれば、米国の不正選挙の構図が壊されて民主主義が戻るかもしれぬが、それらが起きぬ場合は、米国は今後ずっと不正選挙が続く（トランプ登場前も、電子投票機で不正ができるようになっており、2大政党間の談合で、民意に関係なく政権党が決められる傾向があったが）。選挙不正が繰り返されると、何れトランプが引退に追込まれ、米国は諜報界が支配するエスタブ二大政党の談合体制に戻る。米国を諜報界の支配や覇権主義から解放しようとしたトランプ革命は失敗に終る。⑦トランプ派は、2020年と今回の2回連続で選挙不正をやられており、不正の繰返しを防ぐのに失敗している。これはトランプ派の力不足の結果とも言える。米国の選挙不正がこのまま完全犯罪であり続けると、トランプ派が盛返すのは難しくなる。覇権放棄屋のトランプが盛返すと、日欧など同盟諸国は対米自立を余儀なくされるが、トランプが潰されて旧来の覇権主義が続くと、米国は同盟諸国に対する支配や搾取を続け、同盟諸国は苦しい対米従属が長引く。ウクライナ戦争の対露制裁でドイツなど歐洲が自滅させられているのが象徴的だ。米国は、トランプが今後どうなるかに関係なく、覇

権の低下傾向が続く。米国は、覇権が低下するほど、同盟諸国への支配を強めて搾取して穴埋めしようとする。ウクライナ戦争の構図は解消されず、欧州の自滅が進む。インフレが今後も続き、金利が下がらず金融バブル崩壊の可能性が増す。⑧世界最大の大金持イーロン・マスクがツイッターを買収し、共和党トランプ派支援を強めている。今回の選挙不正が放置されると、軍産スタブはトランプ派を潰すための攻撃の一環としてイーロン・マスクへの攻撃も強めてゆく。マスクもそのうち潰されるかもしれない。その前にツイッターが倒産する。⑨世界最優良の民主主義国家だったはずの米国で、選挙不正が恒常化していることは、いろんな意味で重要だ。選挙不正が繰り返されているのに、それが全く公式な話にならない点も重要だ。米欧は、自分たちの民主主義を自画自賛し、民主主義をやれない一党独裁の中国を批判してきた。だが実のところ、米国の民主主義はウソであり、選挙不正が完全犯罪として繰り返されている。嘘の塊の米国と、一党独裁の中国と、どちらが「より悪い」のか。この話は潜在的に、米欧を弱体化し、中共を強化している。

——この記事はウェブサイトにも載せました。<https://tanakanews.com/221111election.htm>

●最近の田中宇プラス（購読料は半年3000円）

◆米中間選挙で大規模不正の可能性 <https://tanakanews.com/221110midterm.php>

【2022年11月10日】米国の中選挙で民主党側（+諜報界）により大規模な不正が行われた見込みが増している。前回2020年の選挙で民主党による不正を可能にした、歪曲された選挙管理体制はその儘今回の中間選挙まで温存された。民主党が握ってきたネバダやワシントン、オレゴンなどの諸州では、コロナ対策を口実とした郵送投票制度の拡大が続き、選挙不正が2年前よりやり易くなった。開票には数日から数週間かかる（ブラジルは3週間開票したのに!!）。時間をかけて開票結果を出す、賈の投票用紙の束を適宜追加するなどして不正の度合いを調整し、最終的な「共和党辛勝」もしくは「民主党の意外な勝利」の形を作ってゆける。

◆EU自滅の行方 <https://tanakanews.com/221103europ.php>

【2022年11月3日】欧州では、露敵視・米傀儡のEUと、それに反対する民意や右派ポピュリストとの分裂が酷くなる。EUやNATOが決定不能な状態を続ける状況が今後も続く。転換は簡単でない。米傀儡から対米自立・親露へとすっきり変えることはない。対米自立・親露化した諸国は、NATOやEUから離脱するのではなく、残留し、全会一致の制度を逆手にとって、NATOやEUが何も決められぬようにすることで、米覇権の衰退を加速させ、叩きを助ける。

◆巨大な金融危機になる <https://tanakanews.com/221023tbill.php>

【2022年10月23日】今の所、米連銀がスイス中銀を経由して用意したドル資金により、クレジットとの取引を解消したい人、金融商品を売りたい人は、無事に引出・売却をして現金を手に入れている。だが今後もし、用意した資金を上回る引出・売却があった場合、対応しきれず債務不履行・破綻になる。米欧の金融市場は全般に、米英などの中銀群が進めている（効かない）インフレ対策としての利上げとQTにより、以前のゼロ金利QE時代のカネ余り状態から、一転して資金不足・リスクプレミアムの上昇・流動性の危機に直面中。インフレは悪化し続けているので米連銀は今後も利上げを続け、資金不足は更に酷くなる。

→ 伊原コメント：トランプは任期末尾の2020年1月頃に軍良心派と結んで戒厳令を敷き、一大粛清をやつておくべきだった。それをしなかったばかりに、米國ばかりか、全世界を暗黒に陥れることになった。

II. 石平『破滅へ向かう経済と社会—そして中国は戦争と動亂の時代に突入する』（ビジネス社、2022.11.1）1200頁+税
権力闘争は果てしなく続く

まへがき 令和4年9月末 石平 奈良市西大寺界限獨樂庵にて

中共第20回黨大會に向けて書いた……この大會で習近平は念願の續投を果し、異例の三期目に入る筈では三期目の習近平は何を目指し、何をやり出すか？（我々にとり大問題!）……私の結論＝動亂と戦争の

時代に突入してゆく筈……

動亂＝経済・社会危機の総爆発による国内の大混乱の発生

戦争＝習近平政権による台湾併合戦争の発動

両者間に相關関係あり……国内危機 → それを回避するため対外戦争に踏切るのが獨裁政権の常套策

台湾有事＝日本有事……習近平政権の三期目は、日本にとって危機に満ちた大迷惑の五年間になる

本書：将来に於る 習近平政権の暴走に備へるための一冊……

第1章 過熱する中国共産党内の権力闘争：黨大會に向けた 習近平派 vs. 長老＋李克強派 の熾烈な戦ひ

13頁 長老封じ込めに躍起となつた習近平陣營

- 5.15 中共中央辦公廳「新時代の退職幹部の黨建設工作強化に関する意見」：老幹部を「習近平同志を核心とする黨中央の周邊に團結させる」のが黨建設の重要任務の一つと強調 → 北戴河會議への牽制
「二つの確立」の遵守：「黨の核心としての習近平の地位の確立」
「國家的指導理念としての習近平思想の確立」

14頁 中共中央辦公廳の主任＝丁薛祥（習近平の側近）

長老：江澤民、朱鎔基、胡錦濤、温家寶ら → 習近平の續投に非常な危機感を抱く

15頁 李克強の反撃：李克強 國務院總理 ＝ 反習近平陣營の中心的存在

16頁 5.14 『人民日報』1面：「國務院第五回廉政工作會議に於る 李克強談話」で會議の概要掲載
2面：上記講話の全文掲載

5.17 李克強一行、雲南視察：雲南大學訪問。『人民日報』、全員マスクなしの寫真掲載 → 反「ゼロコロナ」の動き

18頁 5.18 李克強、昆明市に主な地方政府の責任者を招集し、「經濟成長と市場主體の就業保障に関する座談會」開催（12省長が参加）

20頁 李克強が主導して大々的に開いた前代未聞の全國大會

5.25 國務院、「經濟大局を安定化させる全國テレビ・電話會議」を大々的に開催

21頁 中央財經委員會といふ經濟の司令塔を排除した會議は“異例中の異例にして前代未聞”

22頁 李克強の重要講話：習近平路線と一線を劃した自分の現實路線を打出す

→ 地方政府や党委はこの後各地で、この會議の路線に従つた會議を招集 → 李克強路線活潑化

23頁 人民解放軍にも脱習近平の兆しあり：上記李克強が擧げた會議に解放軍上將 魏鳳和が参加してゐた

27頁 習近平領袖擁立運動の頓挫が示唆する子分らの心離れ：中共廣西チワン族自治区委員會が「二つの確立」と「領袖」の提唱を主導したが……他の地方でも續々開いた會議で「二つの確立」は唱へたものゝ、「領袖」は使はず → 習近平が期待した「領袖」提唱運動は實らぬ儘終熄した……

30頁 習近平陣營の問題點：習近平の續投は、子分らの未來を斷つてしまふといふ“重大事”……
→ 習近平について行つてもこき使われるだけで、後繼の望みなし!!

31頁 中共中央誌のコラムによる 李克強首相の利己主義 痛烈批判

35頁 習近平の親露外交に打撃となる李克強による追放人事

→ 6.14, 國務院、外交部 筆頭副部長 樂玉成 を解任し、國家行政・テレビ總局 副局長 に左遷

2.24 に始る プーチン大統領のウクライナ軍事侵攻 → 習近平の親露外交を危ぶんだ李克強の捲返し
自分の子分を守り切れなかつた獨裁者 習近平にとり、致命的な打撃

39頁 ゼロコロナでの政治局と常務委員會の對立

→ 4.29 黨政治局會議：コロナ対策と經濟發展のバランスをとることを強調（李克強の現實路線）

5.5 政治局常務委で習近平が捲返し：ゼロコロナ対策 堅持、歪曲や疑問と斷乎戦ふ

42頁 習近平の敗退でゼロコロナ政策に腰砕けの兆し

ゼロコロナ政策の二本柱：ロックダウン + PCR定期検査の強制

→ 5.26 中国国家医療保障局、今後PCR検査の費用を支出せずと通達しから……

47頁 6.21 安徽省合肥市政府、「定期的PCR検査を一時中止」と発表。全国9地方政府が追随
党内孤立の習近平による乾坤一擲の反撃も不発に

→ 6.27 党の北京市代表大會演説で蔡奇が北京市はゼロコロナ政策を今後5年堅持すると表明

6.28 習近平、武漢市を電撃視察、人命が大事だからゼロコロナ政策を維持する、と発言

→ 石平評：バカ殿を指導者にした國家の悲劇！

中央では誰も聴かぬから、地方へ行つて発言。習近平の党内孤立を示す！

52頁 李克強陣營の追討で『環球時報』前編集長も遂に反旗か？

→ 6.29 國務院國家工業情報化部、「スマートフォン通信工程カードの星マークを非表示にする」と発表。国内を自由に移動できるやうになる同日、國家衛生健康管理委員會、コロナの濃厚接触者・入国者への隔離措置を短縮：14日 + 7日 → 7日 + 3日へ

『環球時報』前編集長 胡錫進：二つの措置を褒めて「過度なコロナ対策」を批判

54頁 中國の落ち込む經濟をネタに新展開する權力闘争

→ 7.14 『人民日報』は習近平の武漢發言を引用しつつ「我々のコロナ対策」を褒め讃えたが……

7.15 國家統計局は「0.4%成長では經濟大失速だ」と発表……

CCTVの晩7時のニュースで40分以上互り、習近平の新疆ウイグル自治區視察を長々と報導

(0.4%成長の拙いニュースを覆い隠す工作……?)

57頁 習近平の事実上の續投宣言で党内闘争は手打ち？

→ 7.26/27 中共中央主催の高級幹部研修會で習近平が續投宣言：北戴河會議・黨大會に向けて李克強が司會して「二つの確立」に言及…… → この段階で「取引」が成立済だった……？

60頁 胡春華の習近平禮讃で見た黨大會後の最高指導部人事：習近平陣營と李克強陣營の妥協成立

→ 7.27 『人民日報』、6面半分を使ひ、胡春華論文「農業農村農工作に関する習近平總書記の論述を導きに鄉村振興の新局面を開かうとするもの」を掲載
農業を口實に、習近平禮讃のために書かれた論文／忠誠心の表明／5800字の中に「習近平總書記」が52回も頻出

63頁 北戴河會議前の妥協：習近平の續投／李克強・汪洋の政治局留任 + 胡春華の昇格

64頁 驅引と妥協の北戴河會議(8.1~15)で何が決つたのか？

→ 8.1~15 北戴河會議：長老連・改革派が「改革開放」路線を強く支持……

8.13 『人民日報』1面トップ：本紙記者の署名記事「改革開放を以て經濟發展の原動力となす」

8.15 『人民日報』5面：「改革開放を以て經濟發展の原動力となす」論評

8.16 李克強、深圳(改革開放の原點)視察、鄧小平銅像に獻花／習近平、遼寧省視察

68頁 續投確保の習近平と改革開放路線を取戻した李克強

→ 8.14 『光明日報』「二つの確立の中で繼往開來的に黨大會を迎へよう」掲載：習近平の續投宣言

8.18 新華社が黨の指導に関する長い論評を掲載

8.19 『人民日報』、一面全部を使ひ、習近平の遼寧省視察を報じた

71頁 習近平陣營を壓倒する共青團派の勢ひと次期最高指導部

→ 8.15~ 共青團派の活躍、目立つ。8.25までに李克強(全人大委員長)が5回、汪洋(首相)が5回、公開活動した
八面六臂の活躍をしたのが胡春華(59歳、政治局常務委員、筆頭副首相)。

74頁 習近平續投確定と路線闘争の今後はどうなる？

→ 8.30 中共、政治局會議：10.16から黨大會を開くと決定

8.31 『人民日報』1面：黨大會の基調「人民全體の共同富裕の繼續的推進と人類運命共同體構築の繼續的推進」→ 「改革開放が齎した貧富の差の修復」+ 「中國の世界霸權樹立」

- 77頁 中国を蝕む成都ロックダウンの怪と封鎖政治の弊害
 → 9. 1 人口 2100万人の成都（上海に次ぐ大都會）がロックダウン……新規感染者が157人出たため！
 ロックダウンを決めたのは、四川省党委書記の王曉暉（習近平思想構築に関つた 宣傳部一筋の男）
- 80頁 党中央黨校元教授が予見する習近平三期目の戦争と災難
 → 9. 6 Foreign Affairs が 中央黨校元教授 蔡霞の寄稿「習近平の弱點、狂妄と偏執が如何にして中國の未來を脅かすか」を掲載。習近平は 副主席時期に 中央黨校 校長。2020.6.の コロナ禍 の 最中に「習近平
 82頁 「習近平はコンプレックスの塊であり、自分の學歷や知的レベルに對するコンプレックスから發する虚榮と偏執が習近平といふ人物の個人的な特質である」「いかなる意見にも一切耳を貸さず、いかなる反對意見をも絶對許さぬ、行き過ぎた個人獨裁が 習近平の政治スタイル……この政治スタイルは狂妄、偏執といふその性格から生れたのだ」
 蔡霞の予言：習近平はあらゆる権謀術數を驅使して次の黨大會を乗越え、その後は獨斷專行してやりたい放題の獨裁政治をやらうとする…… → 予言の通りになつてゐる!!!
- 83頁 中國民間の習近平への反撥の凄まじさ！
 → 9. 8 英 Elizabeth女王 歿 中國のネット：「もう一人、死んでゐない奴がある」「本當に死んで欲しいのはあいつだ」「死ぬべきでない人が残念ながら死んだ。だが死ぬべき奴が全然死んでゐない」etc.
- 84頁 石平曰く、「私は蔡霞の寄稿を読んで頗る絶望的氣分になつた。彼女は、習近平政權が潰れるには戦争以外にないと判斷してゐるから……習近平の三期目は世界の迷惑だ!!!
 戦争になるかどうかはともかく、習近平政權の三期目が平穩に終ることはないだらう……
- 85頁 「ゼロコロナ政策を變へよ」の大合唱の背後で續く路線闘争
 → 9. 5 胡錫進が自分の微博で lock-down を止めて with corona にはようと提唱……
 9. 6 石正麗（武漢ウイルス研究所の研究員、コロナウイルスの生みの親）も自分の微博で「コロナはコロコロ變るからコロナ対策は随時調整せねばならない」と提唱……
 9. 8 張文宏（復旦大學 附屬華山醫院 感染科主任の醫師）がネット番組で發言：米國の毎日の新規感染者數は中國の3萬5千倍だ。それでもロックダウンしてゐない。我々も普通の生活に戻るべきではないか」と主張
 同じ9.8に國務院はコロナ対策の行き過ぎを問題にして8市縣の名を全國に通報
 → 何れも國務院を握る李克強の働きかけによるもの……?
 北戴河會議前から續く 習近平派 vs. 李克強派の路線闘争……

第2章 統制強化に突き進む中國社會：個人の動向をネットで完全掌握する中共黨

- 92頁 密告獎勵法の主な標的は外国人になるかも知れない
 中國國家安全部は2022.6.6「國家安全危害行為に對する公民通報獎勵法」を公布、即日施行 → 「密告獎勵法」
 最高で10萬元（約204万円）の報獎金付き……
 國家安全部の標的：海外からの侵入と諜報活動……
- 94頁 外國の民間團體・研究機關・新聞社・出版社etc.が全て對稱となる恐れあり……
 外國人が標的となる密告獎勵法が施行された以上、日本人も中國に行かぬ方が宜しい……
- 95頁 國民を震撼させた河南省「赤いコード事件」の衝撃と恐怖
 2022年6月中旬 河南省鄭州市で起きた「赤いコード事件」發生……
 コロナウイルス感染に對應するスマホのアプリ「健康コード」……緑・黄・赤の3色をスマホ画面に表示……
 緑：陰性で感染してゐないから大丈夫

黄：感染の恐れあり、陽性になり得る

赤：陽性で感染済

健康コードが「赤」になると 公共施設や交通機関の利用は許されない。略隔離状態にされる

さうした中で起きたのが、河南省の「赤いコード」事件……

2022年4月中旬～ 河南省鄭州市に 本店 を置く 複数の 村鎮銀行 が システム の アップグレード のため ネット預金引出し を 止めた

村鎮銀行 の 金利 が 高いため、全国各地の人々が ネットを通じて預金してゐた。預金引出し が できなくなった 全国の預金者 が 店頭で 預金引出し交渉 開始

5月になると、取附騒ぎに発展しかけた……

6月12日、突然、預金者連 の スマホ の 健康コード が 一齊に「赤」になった……チケットを 買つても 新幹線に乗れない。已に乗つてゐて 鄭州市 の 驛 に 着いても 驛から出られない。村鎮銀行 で 抗議してゐた人も 隔離施設に連れられて行くことになる。預金者連 は 忽ち 自由 を 奪はれた……

預金者連の疑惑：鄭州市の政府当局が職権を濫用して、預金者の健康コードを勝手に赤にした……？

そこで 利用者連は 自分 の PCR検査 の 陰性証明 と スマホ の 健康コード の 赤 を 並べて スマホ で 発信した

98頁 反政府的な人間を スマホアプリ で 監視下に置く当局

「赤い健康コード事件」の二つの問題：①預金が引出せなくなる。②健康コードの勝手な変更。

6月22日、鄭州市当局が やつと 意圖的に赤に變へたことを認めたが、関係者の處分は軽く済ませた

100頁 中國國民が受けた衝撃：①健康コードの勝手な変更。②國民全員が いつでも どこでも 政府の監視下にあること

101頁 中國國民はこの事件を通して、徹底的な責任追及を求めたが、事態は何ら變らず……

→ 中國全土が史上最大の刑務所と化してしまふ可能性あり……

中國駐在の日本人も、早めに日本に引上げた方がよからう……

102頁 政治運動の色彩が強く出た河南省での抗議行動

→ 4. 18 村鎮銀行の自分の口座から預金を引き出せなくなる……

7. 10 三千人もの預金者が鄭州市内の中國人民銀行鄭州支店の玄關前で抗議行動

抗議行動の特徴：(1)統一的形式・色の横斷幕を掲げてゐたこと（組織的統一行動）

(2)政治的訴求：「預金なしでは人權なし」「政治の恣意に反対」「河南省と黑社會との結託に反対」「抑壓に反対し人權と法治を求める」etc.

→ 中國の一般民衆の抗議行動で政治的訴求を掲げたのは、1989年 の 天安門事件以來のこと!!

横斷幕の一部で、習近平の子分、河南省中共黨書記 樓陽生 に 矛先を向けてゐた……

この抗議行動は、7. 10當日中に 當局が正體不明の白服集團を動員して抗議者全員を拘束……

7. 11 河南省當局は「預金者各人に先づ 5萬 (102萬) の 預金を河南省當局が立替えて保障する」と發表して事態の收拾を圖つた

→ 「民衆の自己組織化」の始まり!!!! つまり「中國の民主化」の始まり!!!!

105頁 → 民衆が、獨裁體制こそ問題だと強く意識し、自由と人權を求める政治行動を取り始めたこと
南京寺院の日本人戦犯供養の敵視は現代中國版魔女狩り

7. 21 中國人ネットユーザー が SNS で「南京市内の玄奘寺で日本人戦犯の位牌が祀られてゐる」と寫眞付きで告發。直に ネット で 擴大。かつ位牌の中に 松井石根 陸軍將 谷壽夫 陸軍將 のものあり

7. 24 南京市政府 の 調査結果：供養の依頼者の中國人女性は 元看護師、今は佛門に入り寺院に在籍
2017. 12. 18 玄奘寺に赴き、「友人の供養」と稱して自らの宗教的心情から 6人 の 供養を 自費で依頼したもの。2022年2月 に 寺を訪れた中國人參拜客が「問題あり」と指摘すると 寺側は その位牌を 撤去。撤去して無かつたのに 上記ネットユーザー の 告發投稿 で 事件蒸し返し……

→ これが ネット上 で 大批判運動となり、全國の全宗教施設の點検といふ宗教彈壓事件に發展……

109頁 → 8月 の 北戴河會議 を 目前にして、習近平陣營 が 意圖的に ナショナリズム感情 を 煽り立てて 對外強硬姿勢 の 習近平 の 立場を強化

しようとしたのかも知れない……

110頁 中國各地の日本風の夏祭も「反日憂國」の標的に

7.27 8月に開催予定の夏祭イベントがネット上の批判を浴びて中止・内容変更を迫られた……
中國語の「祭」は宗教的行爲のみ、イベントの「祭」は日本語であり、日本的行事で鳥居や浴衣が登場する
それが南京市の戦犯位牌事件のとぼっちりを受けて「反日愛國」の嵐が吹き荒れ、何年も續けてきた夏祭が中止に追込まれた……

112頁 究極の民衆統制装置に「商鞅の亡霊」が蘇る

十戸長制の原形＝「什伍の制」(秦の宰相商鞅前390-前338が考案した民衆統制システム)
法家の基本的な考へ方：民衆は碌でもない連中なので厳しく統制せねばならぬ
商鞅は中國古代史上の法家の代表格の人物

4.20 四川省内江市の一部で中共組織部の指揮下で十戸長制の試験的実施あり……

9.11 内江市の中共組織部「現在6區2千人以上の十戸長がコロナ対策に動員中」

9.21 中國のネットで「内江市當局が都市部住民の新管理制度として発案した“十戸長制”を市内に
擴めようとしてゐる」とのニュースが大擴散……

十戸長制を推進してゐるのは中共組織部。四川省で実施したのは、習近平思想の構築・宣傳に盡力した王曉暉が党委書記をしてゐるから……

115頁 石平の予想：三期目の習近平政權は、必ずや三期目に十戸長制を一氣に全國に普及させるだらう

→ これからの中國社會は益々恐ろしいものになつて行くだらう……

第3章 破滅へと向かふ中國經濟

118頁 李克強に突き放された不動産市場 崩壊による地方財政危機

5.25 國務院、「經濟大局を安定化させる全國テレビ・電話會議」開催

李克強 重要講話：「今年第二・四半期に最低限の經濟成長率を確保せよ」

せめてマックスにならぬやうに頑張らうといふ悲壯な呼掛け

この數ヶ月、特に「今年四月」の地方の財政収入の急速な惡化：空前の財政難……

深圳市 前年同期比 44%減／南京市 54.9%減／蘇州市 49.6%減／杭州市 36%減……

主因：不動産市況の惡化。今年1月~4月の全國地方政府の土地讓渡金収入は前年同期比 29.8%減……

今年1月~5月の上位100位の大手不動産開發業者の土地使用權の取得規模は 64.7%減……

120頁 惡循環：不動産市場の崩壊 → 開發業者による土地讓渡の大幅減 → 地方政府に入る土地讓渡金の大幅減

→ 地方政府の財政収入の大幅減 → 地方政府の財政危機の發生

李克強：重要講話「一部の地方政府が財政難で中央政府に資金援助を求めて來てゐるが、中央政府にも余分な資金は全くない。地方の財政問題は自力で解決せよ」と冷たく突き放す

→ 地方政府の財政、絶體絶命の苦境へ

121頁 残る唯一の手段は……「企業からの收奪」、特に進出外資企業からの收奪……

1992年以降で二番目に低い經濟成長率の衝撃：一番低かつたのは2020年 第四半期の -6.8% (武漢コロナ發生による)

7.15 國家統計局 發表：今年 第二・四半期 (4~6月) の經濟成長率は 0.4%

122頁 今年 上半期 (1~6月) の經濟成長率も 2.5% (當初の目標値は 5.5%)

7.15 清華大學 經濟管理學院 教授 鄭毓煌が自らのネット番組で今年上半期の數字を披露：企業倒産數 46萬件／若者の失業者 8000萬人

123頁 中國經濟大失速の原因：不動産市場の沈没+消費不振

これに拍車をかけたのは、習近平の「ゼロコロナ政策」による上海市のロックダウン (4月~6月)

4~6月 の 經濟成長率：全國 0.4%/上海市 -13.7%

燎原の火のやうに擴がる住宅ローン ボイコット運動：景德鎮一揆＝業者に工事再開を、銀行に責任を追及

- 6.30 不動産開發大手の恒大集團が江蘇省の景德鎮で建設してゐるマンションの購入予定者全員が共同聲明を出した
購入した物件が工事停止となつたため、「工事が再開し、落成の見通しが立たぬ限り、2022年11月以降、住宅ローンの支拂を止める」と宣言
→ 資金繰りに窮した業者は、月々のローン支拂を建設に當てず、借金返済など別の用途に當てるので、上記聲明はそれを防ぐためのもの
→ 景德鎮一揆の詳細がネット/メディアで擴散すると、7月中旬以降、全国各地がこの動きに追隨……

7.22 各地に景德鎮一揆に習つた動きが傳播：北京、廣州、武漢、河北省、湖南省など全國20以上の都市・省の350件以上に波及
→ 當局に立向かふ庶民の反骨心が誕生した……

127頁 15年以内に労働人口の半分がパートタイム（零工）の時代に

- 7.14 中共中央委發行の『光明日報』が「零工市場に関する論評」を掲載：中國には若年層を中心に2億人がパートタイム労働に従事（予測）
中國の總労働人口7億9200萬人の1/4。「今後15年以内に中國全國で零工が4億人に上る」と推測。その大半が若者
→ 結婚數も出生數も今後激減する筈 → 人口急減……不動産賣買が激減……

- 7.15 國家統計局發表：2022年上半期の都市部の失業率が5.7%
問題(1)：16~24歳の失業率は19.3%（若者の5人に1人が失業）
日本の15~19歳の失業率9.8%/20~24歳は9.1%
問題(2)：多くの若者が定職に就かず、パートタイム労働に従事

129頁 大學生の就職問題は經濟問題であり政治問題にもなり得る

學卒者（中國の卒業は7月）の就職が年々厳しくなつてゐる

- 5.18 民間求人サイト「智連招聘」（リクルート）が「2022大學生就業力調査研究報告」を發表
2022年の新卒大學生で就職の内定を貰つたのは4月の時点で46.7%（前年同月は62.8%）
4月中旬の時点で就職契約ができたのは15.4%（前年同期は18.3%）
中國では4月下旬に内定を貰へなければ年内の就職は絶望的……
就職できなかつた者は……叛亂勢力になるかも知れない……大きな政治問題……

135頁 不景氣……失業擴大……地獄の入口に差しかかつてゐる……???

136頁 深刻化する地方財政による公務員大減給の悪影響

不動産の衰退 → 地方政府の財政（土地財政）益々深刻化……

平均して各地方政府の財政収入の60%程度は開發會社からの土地讓渡金に依存……

各地方政府は財政収入の60%程度を開發業者の拂ふ土地讓渡金に依存……

- 8.17 財政部發表：2022年1月~7月の全國地方政府に支拂はれた土地讓渡金總額は2兆8279億元
これは前年同期比で31.7%減：2021.1月~7月の土地讓渡金總額は4兆1400億元
中國の地方政府（各省・自治區・直轄市の政府）は殆ど赤字……
→ 地方公務員と教師は軒並み減給 → それに釣られて國家公務員も減給……
→ 中共政權を直接支へる人達だけに、經濟面でも政治面でも大問題……

138頁 轉落が續くホウエイの目標は生き延びること

2022年上半期のホウエイの純利益は前年同期比52%減……

→ 米國による中國とホウエイの封じ込め……

2019年 世界のスマホ出荷台數に於るホウエイのシェアはアップルを抜いて第二位

2020年 第三位に轉落 → 2021年上位5位からも轉落、賣上高28.6%減 → 2022年上半期の純益52%減

故に、初ウエイの創業者 任正非 にとって 今後10年は 生き延びることが全て……

140頁 尖端技術に於る 中國企業の脆弱性……中國企業の肝腎な技術は、やはり西側に握られてゐる……

第4章 中國が直面する厳しい外交

142頁 台灣防衛に軍事的關與とのバイデン発言に怯える 習近平

5.23 訪日中のバイデン大統領が岸田文雄首相と共同記者会見：「米國は台灣防衛に軍事的に關與する」と発言
バイデン大統領のこの発言は三度目。一度目 米國市民との討論で。二度目 NATO關連の共同記者会見の場で
三回の発言に 賴政府は「米國の台灣政策に變りなし」とバイデン発言を打ち消す……
だが、三回繰り返された大統領発言は取り消せない → 世界中に擴散……

143頁 中國メディアは静かで大人しい…… 不思議……『環球時報』が僅かに反應したが生温い

145頁 米國に抗へぬ中國は矛先を日本に向けてくるか

147頁 5.24 強者にひれ伏し、弱者は叩く中共外交：對日＝大使呼びつけ／對米＝反應せず

149頁 政府のブレーンが叫ぶ「台灣併合」と「ロシア支援」

5.30 陳文玲（中國國際經濟交流センター 總經濟師）中國人民大學主催「米中問題シンポジウム」で對米強硬意見を吐く

(1) 對米幻想を捨てて米國との戦ひに備へよ

(2) 米國が對中攻勢を強めるなら、我慢せず、米國に報復的打撃を加へよ

(3) 歐米諸國が中國に制裁を課せば、直ちに台灣を併合して TSMC を手に入れよ

(4) 中國は全力を擧げて 中露大聯盟を形成して ロシアを支援せよ

150頁 彼女は決して少數派ではない。習近平ばかりか、中國政府も 中共も結構 危険な存在 である

151頁 人民解放軍「軍隊非戦争軍事行動要項」の危険過ぎる狙ひ

6.14 『人民日報』一面トップで 習近平の署名により「軍隊非戦争軍事行動要綱」が 6.15 から 施行されると 發表
その狙ひ：台灣に對する「特別軍事作戦」への用意

6.7 胡錫進：微博で台灣併合作戦について發言「台灣併合戦争は持久戦を避けて即決せねばならない。そのためには斬首作戦で台灣要人を殺害すべきだ。島内の總統を初とする獨立分子を一人残らず消すのである。彼らを生かしてをいたら、彼らが台灣民衆を煽動して人民解放軍に對する抵抗を試みよう。それで戦争が長引く恐れあり。だから先づ、斬首作戦（暗殺）をやるべきだ

最速で 蔡英文の總統府を制壓し、台灣全土に「抵抗を放棄せよ」と 命令を下すことが 肝腎

154頁 台灣併合では本格的戦争ではなく 非戦争的軍事行動で勝つ

156頁 特殊部隊による 要人殺害で台灣政府の中樞部門を掌握……？

安倍元首相の暗殺に 酷い反應をする中國人もゐる

7.8 安倍晋三 元首相 暗殺

157頁 中國を壓倒した安倍外交の凄味 → 暗殺に對する中國政府の反應は頗る冷淡……

中國のネット上の反應：「暗殺者は英雄」、狂歡、祝電、拍手……

一部の反應：ネットに 女性歌手 梁靜茹 が歌った「可惜不是你」をアップ。習近平でなくて残念の意

160頁 安倍首相の凄味が習近平の冷たい顔を笑顔に變へた

2014.11.10 安倍首相、習近平と初會談（北京 APEC會議）：中共側、冷たい對應。國旗なし、遅刻、佛頂面

2017.11.11 安倍首相、習近平と(2)會談（ヴェトナム APEC會議）：國旗あり、笑顔……

→ 習近平が變つた理由：2016.11. 米でトランプ大統領 當選、真先に安倍首相がトランプと會見……

安倍首相がトランプに 中國の政治・經濟などを丁寧にレクチャー……

→ 安倍首相を蔑 さいがし ろ にすと 米中關係に大きく響くやうになつた

- 163頁 中國を壓倒してきた安倍外交の本質
トランプ大統領と安倍首相の四年間：蜜月でなく、蜜年だつた……
安倍首相：トランプ大統領と10回面談／30回電話會談／4回ゴルフ。「自由で開かれたインド太平洋」構想の採用
- 166頁 習近平は王毅を使つて引續き戦狼外交を進める
- 168頁 ロシアの苦境で習近平の御機嫌取りに徹するプーチンの悲哀
2. 4 北京冬季五輪開式：習近平が遜へりくだる
2. 24 ロシア、ウクライナと開戦：
9. 15 上海協力機構首脳會議：習近平の態度一變。プーチン大統領は終始一貫、習近平の御機嫌取り
習近平のプーチンとロシアに対する態度：「君子豹變」ならぬ“小人豹變”
- 172頁 中露關係は完全な利害打算に基く悪黨同士の連携
- 175頁 中露の腐れ縁：悪黨同士の連携でしかないのだが……
- 176頁 バイデン発言に腰抜け政権は對米外交で尻尾を振る
9. 18 バイデン大統領、CBSテレビのインタビューで中國の侵攻に對し米軍は台灣を守るかと訊かれ「イエス」と回答（4度目）
9. 19 中國外交部報道官毛寧が定例記者會見で「強烈な不満と斷固たる反對」を表明。だが米國大使を呼び出して抗議することはせず
然も定例記者會見でのこのやりとりは外交部のサイトの定例記者會見の内容から完全に抜け落ちてゐた
9. 20 王毅外相、國聯總會出席のためNYを訪問した王毅外相、全米商工會議代表との座談會で「米國との相互尊重、平和共存は習近平主席の揺るがぬ方針だ」と述べる
9. 22 アジア協會のNY本部で演説し、「中米友好共存、中米協力、中米のウィンウィン關係の構築」を熱く語る
- 第5章 米下院議長の訪台と台灣情勢の今後
- 180頁 對米軍事恫喝で世紀の大失敗を演じた習政権
7. 18 英FT報道：米國のナンシー・ペロシ下院議長が8月のアジア歴訪の一環として訪台を予定
7. 20 バイデン大統領、「米軍はペロシ議長の訪台を歓迎してゐない」→習政権、訪台阻止の好機到来、と觀測
- 182頁 7. 24 FT、「中國政府は非公式に米國政府に對してペロシ訪台阻止のため、軍事對應をする考へあり」と傳へたと報ずる（中國政府の對米軍事恫喝）
7. 25 中國外交部の戦狼外交代表格の一人趙立堅報道官が記者會見で「中國側は迎え撃つ」とペロシ訪台阻止の姿勢を表明
7. 26 中國國防部の報道官曰く、「ペロシ議長の訪台を、人民解放軍は絶対坐視しない」（軍事的恫喝）
- 183頁 →米國を「ペロシ訪台實現」に追ひやる言辭／習政権：「望まぬ事態」を招來する愚策
7. 28 バイデン、習近平と電話會談。バイデン「台灣海峡の安定と平和を損なふいかなる行爲にも強く反對」と傳達
- 185頁 中國は少しでも隙間と弱さを見せた國に附込んでくる
7. 30 『人民日報』3面の二つの論説：「米中關係は正しい軌道に乗つて前進し發展することを推進せよ」「米中關係は意思疏通を強化して誤判斷を回避せよ」
→何れも、對米關係改善への意思表示
同じ7. 30 解放軍は福建省平潭島附近の海域で小規模な實彈射撃訓練を実施
8. 2 ペロシ訪台 → 8. 3 ペロシ離台
8. 4 解放軍、再び軍事訓練 → 米國との軍事衝突を避けた解放軍……
- 187頁 中國國民の絶望と憤懣を取り除くためのウソと茶番
- 192頁 龍頭蛇尾となつた人民解放軍の軍事演習の實態
- 195頁 中國軍事演習の目的は「台灣威嚇」→台灣人、怯えず、挑發に乗らず／8. 5の台灣株價2. 2%高騰
- 196頁 殺氣立つ中國の最新版『台灣白書』の狙ひは何か？
8. 10 中國國務院の台灣事務辦公室と新聞辦公室が連名で『台灣白書』發表

1993年／2000年 に續く三番目の台灣白書。習政權下で出された初の台灣白書
以前の二つの白書は、台灣統一後も「台灣に派兵せず」と書いてゐた
今回の白書からは、この二つの約束が消えてゐた

199頁 中國對西側諸國の對立で台灣有事は世界有事となる

8. 3 G-7 の 外相 が 共同聲明を發表「中國は、米國 の ペンタゴン の 訪台 を 對台攻撃的軍事行動 の 口實にすることは正當化できない」
8. 4 EU の 外交安全保障上級代表 ヨセップ・ボレル と 國務院 アントニー・ブリンケン の 聲明「台灣海峽の平和と安定をどう守るかにつき話し合つた」

202頁 台灣軍による中國無人機撃墜と中國の腰抜け對應

8. 15 人民解放軍の無人機が中國福建省に近い離島 金門島に飛來して軍事基地を撮影
この寫眞が後日、中國國內 の SNS で 流出・擴散（台灣に對する嫌がらせ）

203頁

8. 24 台灣國防部、「それに對する我々の防衛體制もすぐ完成した」
8. 29 中國外交部報道官「中國の無人機が中國領を飛ぶのは當然のこと。何が悪いか」
8. 30 蔡英文總統、金門島の駐屯部隊を視察し、「中國の無人機の侵入に對抗措置を取るやう國防部に命令した」
當日、金門島に飛來していた中共の無人機に、實彈で威嚇射撃。無人機は忽ち去る
9. 1 また無人機飛來。射撃して撃ち落す。挑發には毅然と對處するのが鐵則